

野球 第101回全国高等学校野球選手権滋賀大会

3回戦 彦根東 1 — 6 光泉

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
光泉	1	1	0	0	0	1	0	2	1	6
彦根東	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

新 チームへ引き継ぐ思い 点差埋められず 惜しくも敗退



▶勢いよくホームに生還する井上君

▲マウンドに集まり士気を高める選手たち

▲井上君は4回裏に安打を決めた。

7月21日に県立彦根球場で第101回全国高等学校野球選手権滋賀大会の3回戦が行われた。本校は光泉高校と対戦し1—6で敗退した。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

この試合では中谷凌君（3—5）が投手を務めた。一回表の相手の攻撃、本校は相手打線に連続安打を浴び先制点を許す。その裏、本校の攻撃は2番加藤陽也君（3—5）が内野安打で出塁。さらに次打者の打席で盗塁を決め二塁へ。続く3番森野隼人君（3—2）が犠打で二塁走者を三塁へ送る。そして次打席で相手の送球が乱れている間に三塁走者がホームへ生還。1—1と同点に追いつく。しかし2回表の相手の攻撃時に、先頭打者から二塁打が飛び出しその後本校の守備が乱れ、追加点を奪われる。4回裏の本校の攻撃、二死走者なしの場面でも5番井上太君（3—8）がレフト前に球を運びチャンスを作るが続き。本校は一点差を埋めたいが相手の投球に苦しみ安打が出ない。6回表に点を追加され一点をリードされたまま迎えた8回表の相手の攻撃。送球ミスで先頭打者に出塁を許し、次打者も内野安打で進塁。無死一、二塁の場面に2者連続で安打を決められ1点を奪われる。さらに犠打で1点を追加され4点差に。8回裏の本校の攻撃、二死走者なしの場面で中島大智君（2—8）がライト前安打を放つがあと一本が出ず。点差は開いたまま迎えた9回。相手の攻撃、一死の場面で四球を与え、次打者はセンターフライで二死一塁。しかし打線が続き一点を加えられる。一点でも返したい本校の攻撃、二死のなか5番井上君が打席に立つも球を捉えられず三振。試合終了、本校は3回戦で敗退した。

監督の村中隆之先生は今回の試合について「前半、相手にしっかりと振られ、先制点を取られてしまった。どこまで点を取られるかという感じだったが、どうにか一点でくい止めることができ、すかさず思いきったプレーで同点に追いついた。しかし一点差のまま終盤勝負かと思ったが相手投手の球を捕まえられなかった。今日の試合は手も足も出なかったのではなく、自分たちの想定通りだった」と振り返られた。加えてこの試合のチームについて「持てる力をうまく出してきたチームだった。最後までにこにここと楽しんでみながら試合をしていた」と説明された。

なお試合翌日から新チームの練習が始まっている。新主将は中島君だ。新体制に期待が寄せられる。